

平成22年 11月分

小瀬川出張所管内	村本 さん
観察月日	連絡事項等
11月23日	<p>・古い鉄橋の撤去工事が大竹側から開始された。この日は祝日で工事がないので、工事付近の絶滅危惧種のカニの生息場所を確認した。 先月指摘させて頂いた場所には、工事施工業者の手で、絶滅危惧種のハクセンシオマネキを守る為の立ち入り禁止ロープと、看板がきちんとされていた。有難うございました。(写真-1)</p> <p>・上記鉄橋下流の栄橋架け替え工事は、順調に進められています。 現在は、大竹側から仮橋の設置中。安全も環境も守られ、工事が無事終わることを望みつつ、工事を見守ります。(写真-2)</p> <p>・休日のため大竹側遊歩道では、小学生達10名や親子連れが魚釣りをしていた。釣っていたのは、この辺りでの名がハゼ科のゴリやウグイの仲間のイダ。ほのぼのとした風景(写真-3、4、5)</p> <p>・冬鳥達も多く見られる。例年に比べ、ヒドリガモが少なく代わってマガモやカルガモが多く、コガモ、オナガも見られる。大和橋上流ではカイツブリが盛んに潜っては顔を出していた。(写真-6)</p> <p>・今日の圧巻は、見ている傍でミサゴが急降下し魚をダイビングキャッチ。ミサゴに追われカワウが上空を飛び回って逃げていた。 上流のカワウ対策の結果か、最近下流にカワウが多い。(写真-7)</p> <p>・中市堰の魚道(大竹側)には、何時も竹が流れ引っかかっている何故か和木側はない。(写真-8)上流からのもので仕方ないものの何とかならないものかといつも感じる。以上</p> <p>写真-1 鉄橋工事場所の看板とロープ 写真-2 栄橋の架け替え工事</p>   <p>写真-3 魚釣りの子ども達 写真-4 釣られていたゴリ</p>  

写真-5 釣られていたイダ



写真-6 今年は何故か多いマガモの群れ



写真-7 ミサゴに追われ逃げまどうカワウ



写真-8 魚道に引っかかった竹



管理第一課からの意見・感想等

いつもながら各報告有り難うございます。
小瀬川河口では、カイツブリやミサゴといった貴重な鳥が見られ、この時期になると、カモ類など多くの渡り鳥が飛来してバードウォッチングが楽しくなりましたね。
また来月のお便りをお待ちしております。